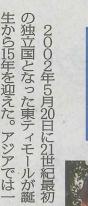
就任・独立回復記念式典に日本から

首相特使として日本東ティモール議 《連盟会長である中谷元・前防衛相

番新しい国だ。今年初めて新大統領



北原巖男日本東ティモール協会会長 ラ、変化する 東ティモールへ

に懸命に取り組んできた。平和と安

定が確立され、国づくりの真っただ



夜中まで祝福した。15年前、同じ場 所で行われた独立回復式典の会場整

持活動(PKO)部隊だった。 備をしたのは、自衛隊の国連平和維 今年3月の大統領選で当選したル 中にある。資源豊富な国が経済発展

オロ大統領は国民の先頭に立って国

も続く。東ティモールはもはや、かいる。30年までに世界の「上位中所 強く語った。7月には国民議会選挙 づくりにまい進すると就任演説で力 の振興と雇用の拡大を図ろうとして

国に比べ著しく出遅れているのが悔

国の代表がそろい、数千人の国民が

トルの特設会場には中谷特使ら12カ

都ディリ近郊の伝統的聖地タシ

つての東ティモールではない。

国連を含む国際社会の尽力もさる

が派遣された。東ティモール重視の

表れと同国も高く評価している。

ことながら、国民自らが平和の実現 得国」入りを目指している。

こうした中、日本企業の進出が他

外国からの投資を勧誘し、国内産業 材育成と基礎インフラ整備を重視。 を回避し、国づくりの前提となる人 に遅れる「資源の呪い」に陥る危険 な例が大国オーストラリアと真っ向 スマン氏が直接取り組んでいる。 権に関わる最重要問題として国父グ 勝負の海上の国境線画定交渉だ。主 断固たる姿勢には目を見張る。端的 将来の国づくりを左右しかねない

イズガス田開発に大きく絡む。国連 ティモール海でのグレーターサンラ

も巻き込み激しい三つどもえの状況

20カ国に対する東ティモールの影響

(SDGs)実現に向けても随時「g 7+」会合を主催するなどしている。

やまれる。東ティモールは小さな国 だが、したたかな外交手腕、リーダ ーシップ、発信力、国際条約順守の 7十」だ。南スーダンやソマリア、 主導して組織化し活動を続ける「g 到にフォローしていく必要がある。 人する資源小国の我が国としては周 ノガス田の年間300万少全てを輸 もう一つの事例は東ティモールが

未来志向の関係確立を象徴的に示し

民を挙げての重層的かつ迅速な施策

た。我が国では加盟を先取りした官

EAN)加盟申請は、旧占領国だっ

11年の東南アジア諸国連合(AS

たインドネシアが議長国のときで、

力の大きさを看過してはならない。

に、主要7カ国(G7)などによる 体的に自国の開発に取り組むととも 紛争国20カ国を相互に連携させ、主 アフガニスタンなど脆弱なポスト

の具現化が強まっている。 司馬遼太郎は「坂の上の雲」で明治

うとしている。持続可能な開発目標 都合の良い支援の押し付けを防ぎ、 真に必要とする支援を獲得していこ のように急速に変化を遂げている。 日本を「まことに小さな国が、開化 た。東ティモールも今、当時の日本 期をむかえようとしている」と著し

13年日本東ティモール協会設立。 官、駐東ティモール大使を経て20

きたはら・いわお 防衛施設庁長